

効果的に捕獲する

捕獲を始める前に！

アライグマを含めた野生動物を捕獲しようとする場合には、**予め、許可や登録の手続きが必要**です。また、危険な捕獲方法は認められません。

わなをかける前に市役所（町村役場）に相談してください。

わなには、見えやすい場所に規定の「標識」を付けてください

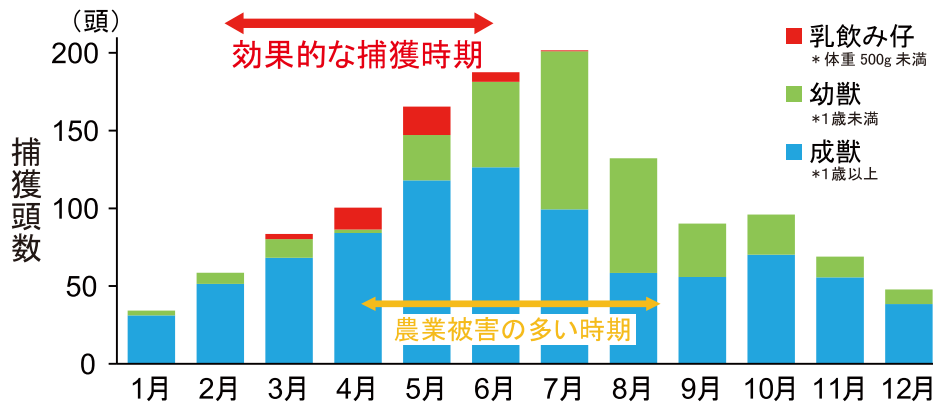


箱わなの設置例

捕獲時期ごとのポイント

捕獲されるアライグマの時期ごとの傾向

*H26～H30年度の捕獲データから平均値を算出



効果的な捕獲時期は 2月～6月頃

妊娠中や授乳期にメスを捕獲することで、幼獣の増加が抑制され、農業被害の低減が期待されます！

夏・秋期（5月～10月頃）

複数頭で出没することが多いため、複数のわなを並べて設置するのが効果的です。

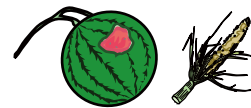
冬期（12月～2月頃）

冬眠はせず、エサに対する執着が高くなる時期です。翌年の収穫期に向けて冬場も捕獲圧を保つことが重要です。

捕獲の手順

1 まずは相手を見極めて

足跡や被害状況等から、侵入している動物の種類を見極めます。



2 守りを固めてから

大事な作物が荒らされないよう、農地を有効な柵で囲って侵入を防止します。

3 わなを置く

竹林や広葉樹林の中の獣道の脇、建物への侵入口の下等、アライグマの通り道付近に置きます。農地に置く場合は、有効な柵で囲った外側に置きます。

設置のポイント

- がたつきがなく、スムーズに扉が閉じるか確認します
- 転倒防止のため、地面にベグ等で固定します
- 餌だけとられないよう、餌入れはしっかり固定します
- 撒き餌をする場合は量をひかえめに

餌の選び方

- 甘く香ばしいスナックは安価で日持ちし、一定の効果あり
- 農地に柵を設置した後に、作物と同種のもの
- ネコが多い場合はリンゴやミカン等の果物
- とっておきは唐揚げ、シューマイ、雑魚等

ワンポイント

一度取り逃がすとわなに対する警戒心がついて、捕まりにくくやっかいな個体になります。わなを仕掛けるときは基本を守り、取り逃がしのないように注意しましょう。

4 見回りをしっかり

わなは毎日見回り、アライグマが好む匂いがする餌を常に用意しましょう。また、事故防止のため、見回りができない日はわなを閉じておきましょう。なお、1～2週間経って捕獲できないようなら、設置場所や方法の見直しが必要です。

5 油断せず続けて

夏から秋は親子2～6頭程度で行動することがよく観察されています。

1頭捕獲しても油断せず、続けてわなをかけましょう。

わなを一度に複数並べて置くことで、複数頭の捕獲が期待できます。

